2

3

4

1

1 全国各地から集まるさまざまな廃棄物を、安全と整頓に配慮された工場で適正に処理 2 太陽光発電を設置し、再生可能エネルギー活用に取り組む境港本社 3 鳥取・島根の小学校や地域で、廃棄物やリサイクルに関する出前授業を行っている 4「楽しく、まじめに、一所懸命」を全社員と共有し、社会に不可欠な企業をめざす三輪社長

三光（さんこう） 株式会社

61
LEADING COMPANY

ecoで未来を創造する 環境を軸に循環型社会構築に貢献

先進的取り組みに挑戦し続け社会に不可欠な企業へ

鳥取県境港市を本拠地に、石油の輸送・販売、建設コンサルタント、土木建築設計など、環境・エネルギーに関わる事業を多角的に展開する《三光グループ》。《三光株式会社》は、そのグループ7社の中核企業として、廃棄物処理・リサイクルを主体に、環境コンサルティング事業を全国展開している。

創業は1972年。石油元売メーカーの油槽所（タンカーで港に持ち込まれたガソリンなどの石油製品を一時貯蔵し、輸送用のタンクローリーに積み込む設備を持つ施設）の管理業、石油販売事業からスタートした。当時は高度経済成長時代の末期で、豊かさと引きかえに、環境汚染や公害が社会問題になり始めた時代。創業者の三輪博美社長（現監査役）は、船舶の廃油を取り扱う事業を皮切りに、1981年、廃棄物処理事業へ本格参入している。1988年に一基目の産業廃棄物焼却プラント完成以降、江島工場（松江市）をはじめ全4工場、東京から沖縄まで全12営業拠点を配し、廃棄物の収集・運搬から中間処理、リサイクルまでをワンストップで対応する企業力を強みに、企業や工場、店舗、商業施設、病院、自治体など、あらゆるフィールドで事業を展開している。

「環境に対する規制が厳しくなる中、常にお客様のニーズと社会の変化に対応するため、先進的な取り組みにチャレンジしながら事業を拡大してきました」と話すのは、三輪昌輝社長だ。2003年には、江島工場内に廃プラスチックを主原料とした固形燃料《RPF》製造部門を新設し、11年には中国地方で初めてJIS認証を取得。13年には、高度経済成長期に電気機器の絶縁体として使用され、その後強い毒性が確認され製造・使用禁止になった《低濃度PCB廃棄物》の無害化処理を開始している。また、自社工場では、焼却炉の排熱を再利用した小型蒸気発電、バイナリー発電を行い自家消費。さらに工場の排熱を活用し、キジハタや海藻の陸上養殖も行っている。

社内では、2013年から作業工程、職場環境の改善制度を設け、〝今よりもっと良くなる〟を目標に、社員のアイデアや意見を積極的に事業や環境整備に取り入れ実行している。また、社内で人知れず良い事をしている人にスポットを当て評価する一隅制度も、社員の活力を引き出す。新たな取り組みに挑戦し続ける三光の根底には、環境と地域、人への温かい目線がある。

三光 株式会社

三光 株式会社

事業内容

総合環境事業（産業廃棄物収集運搬、中間処理）

創　業　昭和47(1972年)年9月
代表者　代表取締役社長　三輪 昌輝
社員数　333名（男264名　女69名）
本　社　鳥取県境港市昭和町5-17
電　話　0859-44-5367

採用エリア（勤務地）

境港市、倉吉市、鳥取市、
松江市、出雲市、浜田市

採用区分

新卒採用　キャリア採用

工場の作業はチームワークが大切 若手の育成・指導に力を注ぐ

江島大橋沿いにある江島工場は、山陰最大規模の複数プラントを有し、三光グループの基幹工場に位置づけられる。ここでは工場内スタッフが、受け入れた廃棄物の積みおろしから分別、焼却処理、リサイクルまでをチームで分担しながら作業を行っている。破砕・選別グループの岡本俊介さんは、2015年に中途入社。前職の工場ライン経験を買われての採用だった。「工場内ではフォークリフトや車両系建設機械など大型重機を操作しますが、入社当時は運転免許を持っておらず、手作業で仕分けをしていました。3か月の試用期間が明けたら、即、免許を取りに行きましたね」と振り返る。「前職は農業機械の組み立てラインで黙々と作業をしていましたが、今は周りのスタッフをはじめ、廃棄物を持ち込むお客様とコミュニケーションが深められ、やりがいを感じています」

所属の破砕・選別グループでは、グループリーダーを担う岡本さん。「自分も入社当時は、経験を積んだ年長のスタッフの方に仕事を教えてもらい、育てていただきました。今度は自分が若手の育成、指導を頑張りたいです」

江島工場　破砕・選別グループ GL
岡本 俊介さん（34）
2015年入社（9年目）

廃棄物の処理でお困りのお客様に リサイクル方法を提案し解決に導く

学生の頃から、エコロジー（自然環境）や産業廃棄物に関心があった曽田将詩さん。大学時代、三光の工場見学会に訪れたのがきっかけで入社を決めた。入社後は、境港本社で1か月間の新人研修を経て、江島工場に約5年。複数の部署での経験を積み、本社の営業職を経て出雲に配属された。出雲支店は、島根県西部・東部で回収した廃棄物を、工場で処理するまで貯めておく中継拠点である。曽田さんの営業エリアは、宍道町から大田市まで。拠点設立以来15年以上のお付き合いの顧客もいれば、新規客の開拓も意欲的に行っている。「産業廃棄物の対応に困っているお客様に、適切な処理法やリサイクル方法を提案するのが営業の仕事。課題を解決し、お客様に喜んでいただけた時に、やりがいを感じますね」。依頼される廃棄物の中には、危険物や薬品もあり、取り扱いに悩んだ時は本社の法務部門に相談するという。「出雲支店は会社の機能がすべて凝縮しており、不便さは感じませんし、人も温かい。三光は新事業に挑戦し続けて成長する会社なので、出雲から新たな取り組みを発信していきたい」

出雲支店・出雲営業所
曽田 将詩さん（29）
2017年入社（7年目）

採用担当者からあなたへ

山陰地方最大規模のプラント施設を複数保有し、廃棄物処理業をメインとした、総合環境事業を行っている会社です。三光は現在、新規設備導入など業務拡大中のため、楽しく、真面目に、一所懸命に働いていただける仲間を探しています。ぜひ、一緒に働いてみませんか？

人事課
徳丸 哲也さん

資料請求・お問い合わせ先

採用直通 TEL
0859-44-5367

採用直通 E-mail
t-tokumaru@sankokk-net.co.jp

公式サイトは こちら